



平成30年8月10日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエイ
代 表 者 代表取締役社長 加藤 博敏
(東証第二部・コード番号 4766)
問 合 せ 先 経営企画部長 阿部 良一
(TEL 03-5803-6318)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月16日に公表いたしました平成30年12月期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の第2四半期（累計）期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成30年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,350	百万円 5	百万円 10	百万円 6	円 銭 0.56
今回修正予想 (B)	1,250	△21	23	0	0.06
増 減 額 (B-A)	△100	△26	13	△6	
増 減 率 (%)	△7.4	—	130.0%	△83.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	1,186	△41	34	△7	△0.66

2. 修正の理由

前回発表予想と売上高が下回ることとなりました要因は、無料求人情報誌「ジョブポスト」の競合他社の価格攻勢がすすみ受注単価が下がった事が要因で前回発表予想より売上高が下回ることとなりました。

人材派遣紹介事業におきましては、採用意欲が依然旺盛であることから、引き続き堅調に拡大し、保育事業は、平成30年4月に2施設開所に伴い売上高は増加しましたが、情報サービス事業の売上高減少を補いきれませんでした。

営業利益が下回ることとなった主たる要因は保育施設2施設開所に伴う開所前に先行する設備費や人件費などの販売費及び一般管理費が増加したためであります。

経常利益が上回ることとなった主たる要因は、平成30年4月に2施設開所の補助金として営業外収益33百万円を計上したことによります。

親会社株主に帰属する四半期純利益が下回ることとなった主たる要因は、繰延税金資産の取崩等によるものであります。

なお、通期連結業績予想につきましては、今後の先行き不透明な事業環境を勘案し、現時点では前回発表の予想を据え置いております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる場合がございます。

以 上